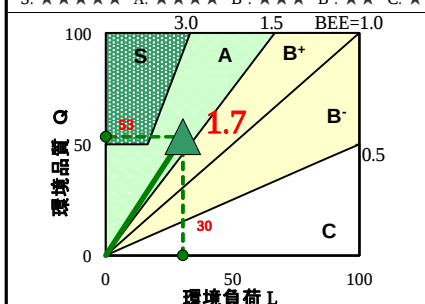


1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	箕面市船場西2丁目PJ	階数	地上7階、地下0階	
建設地	大阪府箕面市船場西	構造	S造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	180 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	6,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年6月4日	
敷地面積	1,184 m ²	作成者	高見 亮大	
建築面積	940 m ²	確認日	2025年6月4日	
延床面積	6,566 m ²	確認者	高見 亮大	

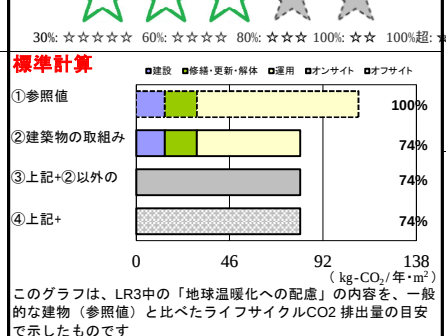
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.7

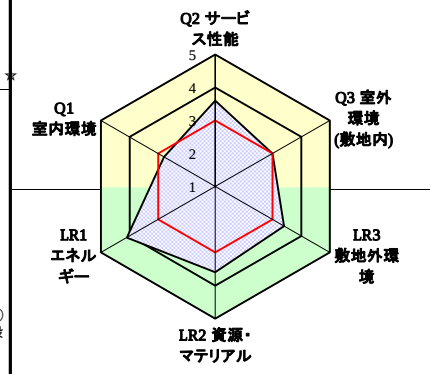
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

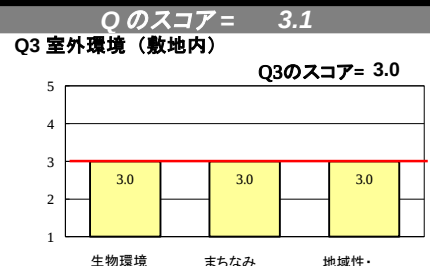
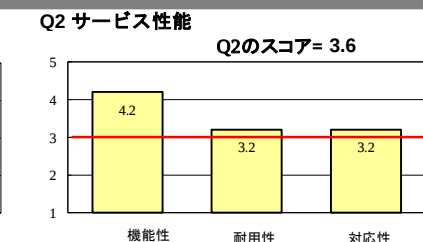
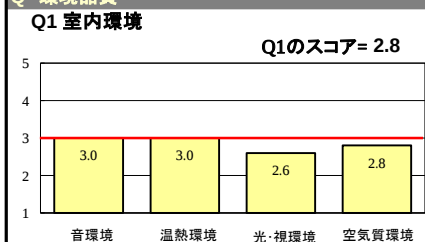


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

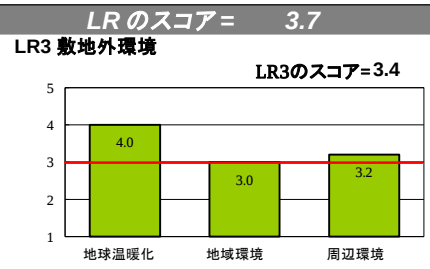
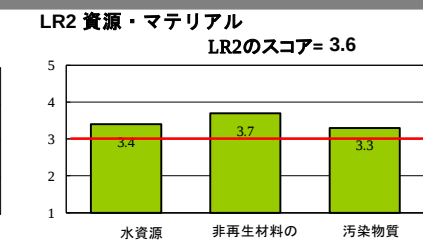
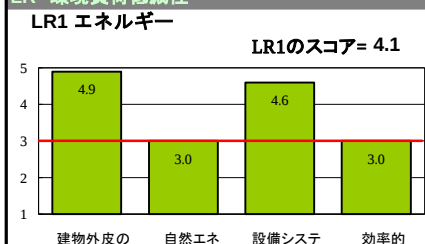


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合

外壁材に有効折板を採用しデザイン性に配慮した

その他

特になし

Q1 室内環境

F☆☆☆を全面的に使用している

Q2 サービス性能

コンセント容量40VA以上確保
リフレッシュスペースを十分に確保
階高を高く設定し空間にゆとりを持たせている

Q3 室外環境(敷地内)

ピロティを設けることにより空間提供による地域貢献に配慮

LR1 エネルギー

BPIm0.81
BEIm0.64
LED照明設備採用など、設備システムに配慮

LR2 資源・マテリアル

節水水栓に加え省水型機器を採用
外壁塗装に有害物質を含まない

LR3 敷地外環境

燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮
光害ガイドラインの過半を満たし、屋外広告を行わない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2018年版					受付番号		R7-0024												
大阪府の重点評価(結果)					Osakafu-新築・既存 2024V1.4														
【建物概要】 建物名称			箕面市船場西2丁目PJ																
建設地			大阪府箕面市船場西																
用途/区分			事務所 工場																
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A												
①		CO2削減					4												
②		みどり・ヒート アイランド対策					3												
③		断熱性能					5												
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル		住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外		評価対象外											
④		エネルギー消費性能					5												
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル		住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外		評価対象外											
				非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				4											
⑤		自然エネルギー直接利用					—												
		再生可能エネルギー		太陽光発電		—		風力		—		地熱		—				—	
		利用施設の導入状況		太陽熱利用		—		水力		—		バイオマス		—				—	
		エネルギー消費量の報告												報告しない					
【評価項目】																			
項目		評価内容										スコア		評価					
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮										4.0		4					
② みどり・ヒートアイランド対策																			
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出										3.0		3					
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上										3.0							
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善										3.0							
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制										4.9		5					
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化										4.6		5					
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用										3.0		—					
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。										報告する 報告しない		報告しない					
その他																			
先進的技術の導入				技術の名称				考慮事項											
特に配慮した事項																			